

## 住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	華建築 株式会社	電話	0749-23-0871
	住所	滋賀県彦根市長曾根南町438		

測定対象建物の概要			
建物の名称	邸 新築工事		
所在地	滋賀県彦根市		
竣工年月日	2016/06		
構造及び工法	在来木造工法		
建物の規模	地階床面積	- <i>m</i> <sup>2</sup>	
	1階床面積	66.41 <i>m</i> <sup>2</sup>	
	2階床面積	67.07 <i>m</i> <sup>2</sup>	
	3階床面積	- <i>m</i> <sup>2</sup>	
	延べ床面積	132.48 <i>m</i> <sup>2</sup> (A)	
開口部の仕様	窓	単層(引き違い・外開き・内開き)	
	玄関戸	外開き戸	
主な部位の気密層の仕様			
建物概要図	別紙添付図面の通り		
通気量を測定した位置	添付平面図に示す		

測定時の建物条件				
	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック錠錠だけ	○	
2	天井・床下放れ口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している 地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	なし	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	なし	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	なし	
9	PP式以外の煙突の穴	ダンパー閉または目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を口張り	○	
11	集中換気システムの給排気 ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	○	
測定対象外にした部分(空間)の名称				
四上で延べ床面積(A)に含まれる床面積		- <i>m</i> <sup>2</sup> (B)		
吹抜け・床下・小部屋などの測定対象の相当床面積		14.53 <i>m</i> <sup>2</sup> (C)		
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S =	147.61 <i>m</i> <sup>2</sup>	S = (A) - (B) + (C)
測定対象とした建物の外皮内容積		V <sub>i</sub> =	<i>m</i> <sup>3</sup> (通気回数を求めるときに記入すること)	

(注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること

## 住宅の気密性能試験結果(2)

図 新築工事

測定者・測定方法・測定装置							
事業所	株式会社 マーブックス	事業所 登録番号	1506	測定者	高橋 次	登録番号	07293-18
所在地	大阪府東大阪市吉田本町2-3-30				電話番号	072-962-8787	
測定方法	JIS A 2281 (透風機による住宅等の気密性能試験方法)による (減圧法) 風量および圧力差の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った						
測定装置	コーナー札幌株式会社 KNS-2500C型						

試験日時	2016年5月24日 9時00分						
測定時の環境	天候	曇り	風速	m/s (参考)			
	室内温度	25.0 ℃	風向	(参考)			
	外気温度	23.9 ℃	風速測定位置	(参考)			
			気圧	hPa (参考)			

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: $\Delta P$ (Pa)	20.6	32.8	42.4	49.9	60.4					
通気量: $Q$ (m <sup>3</sup> /h)	45	65	82	89	113					

隙間特性値: $n$ ( $1 < n < 2$ )	1.19
透気率( $\Delta P=1$ Pa時の通気量): $a$	3.5 m <sup>3</sup> /h・Pa <sup>0.5</sup>
$\Delta P=9.8$ Paにおける通気量: $Q_{9.8}$	23.9 m <sup>3</sup> /h
係数: $b$	0.684
総相当隙間面積: $a$ A(cm <sup>2</sup> )	16 cm <sup>2</sup>
相当隙間面積: $C$ (cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )	0.1 cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>

